

セットアップ編

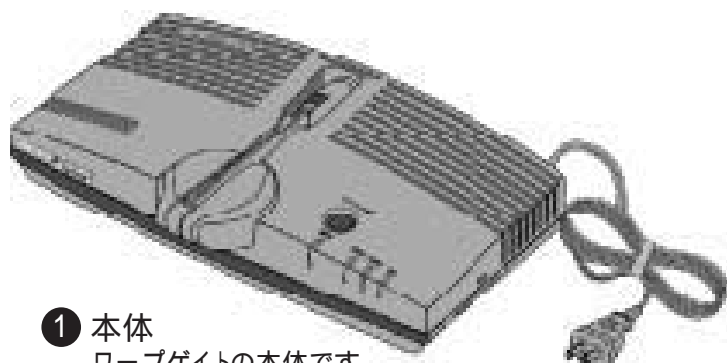
ワーゲイトが手元に届いたら、まずはセットアップ(設置)をしましょう。
この項目では、本商品の中身と名称、設置方法と、サービスを利用する前に必要な準備方法について説明してあります。



サービスご利用にあたり、まずはセットアップを行う必要があります。なお、最初の設置・セットアップの場合は、別紙「クイックセットアップガイド(カラー折り込み)」をご覧ください。

・箱の中身を確認しましょう	12
・各部の名称と役割	13
・設置しましょう	17
・ISDN回線をつなぎましょう	20
・IP通信回線をつなぎましょう	22
・IP接続設定をしましょう	24
IP接続設定画面を確認しましょう	24
ルータを経由しない場合の設定例	26
ルータを経由する場合の設定例	27
高度な設定	31
ワーゲイトのブラウザでルータの設定を行う	32
・会員情報の登録をしましょう	33
・バージョンアップをしましょう	36
・チェックインテストをしましょう	38

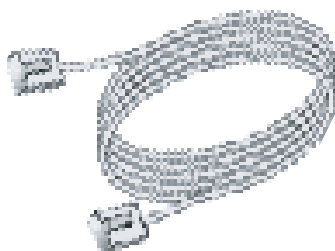
箱の中身を確認しましょう



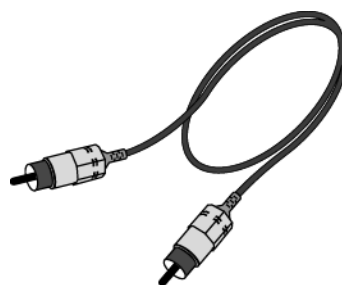
- ① 本体
ワーpgateの本体です。



- ② リモコンと単3電池（2本）
ワーpgateの操作を行うためのリモコンです。（単3電池2本を含む）



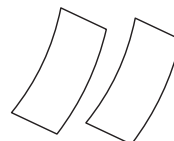
- ③ 回線ケーブル（白色）
ワーpgateを回線に接続するためのケーブルです。（10m・ストレートタイプ・カテゴリ5・8極8芯）



- ④ 映像用ケーブル（黄色）
ワーpgateとテレビを接続するためのケーブルです。（1.5m）



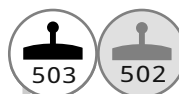
- ⑤ 専用ヘッドセット
ワーpgate専用のヘッドセットです。（ケーブル部：3m）



- ⑥ マジックテープ2枚
ワーpgateの本体を固定するためのマジックテープです。必ず使用して下さい。（別紙「取り付け例（ピンクの紙）」）



- ⑦ 取扱説明書
本書です。
クイックセットアップガイド（カラー折り込み）
マジックテープでの取り付け例（ピンクの紙）を含む。



- ⑧ リモコンテンプレートとインターネットかんたん操作ガイド
ホームページを閲覧する時に使用するリモコンのテンプレートとリモコン操作のマニュアルです。

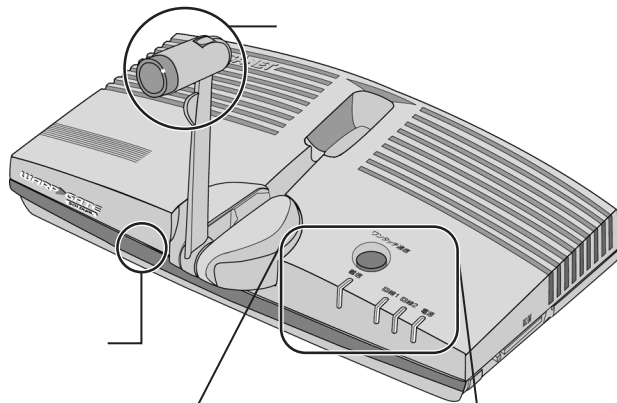
各部の名称と役割

本体各部

セットアップ編

・各部の名称と役割
箱の中身を確認しましょう

上面図



カメラ

本体の電源を入れると同時に映ります。
アーム部を起こして使います。



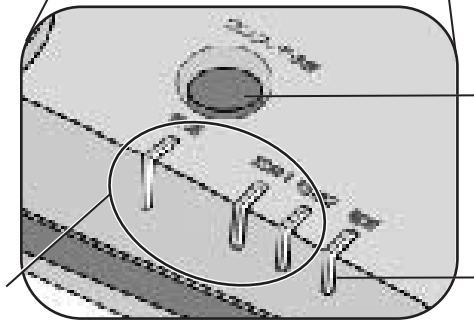
カメラがセットされていると、通信中は
テレビの電源がオフになっていてもご
自身の映像が相手側に映りますので
ご注意ください。

使い終わったら必ず収納して下さい。
カメラの出し入れには、アーム部の
「つまみ」を使用して下さい。
カメラを左右に動かす場合は、カメラ
やアームではなくつけ根を持って動か
して下さい。

リモコン受光部

リモコンからの信号を受けるところです。
リモコン操作は、この部分に向けて行っ
て下さい。

上面拡大図



通信状態表示ランプ

通信状態をランプで表示します。
着信 着信時に赤色で点滅します。
回線1・2 通信中、緑色に点灯します。

ワンタッチ通信ボタン

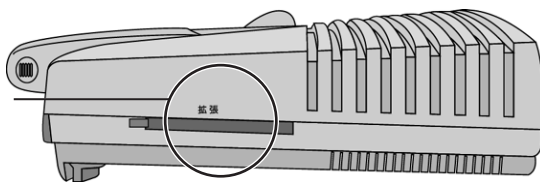
リモコンなしで下記の操作ができます。
登録しておいたサービスまたは短縮
ダイヤルにチェックイン(接続)する。
着信に応答する。
通信中の回線をブレイク(切断)する。

(P.64「ワンタッチ通信ボタンを活用しましょう」)

電源ランプ

本体の電源のオン/オフを表示します。
オン 緑色 オフ オレンジ色

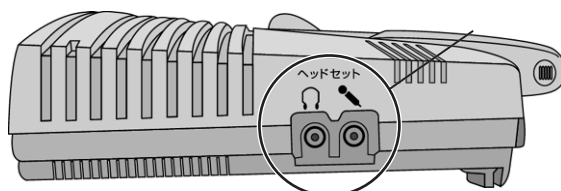
右側面図



拡張機能スロット

拡張機能カードを挿入します。
別売のコンパクトフラッシュカードを挿入し、
静止画の呼出/保存することができます。
(P.45「拡張機能」)(P.66「静止画送信」)

左側面図

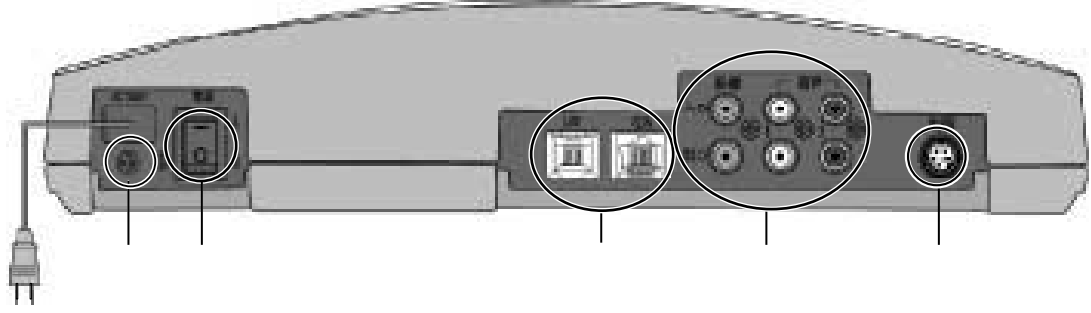


ヘッドセット差込口

ワープゲイト専用のヘッドセット、またはオ
プションのハンズフリーマイク(P.112「オ
プション一覧」)を接続します。

本体各部(つづき)

背面図



アース用端子

アースを接続する所です。(P108「用語集-アース」)

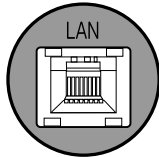
主電源

主電源の入/切を切り替えるスイッチです。通常は「入」にしておきます。

回線端子

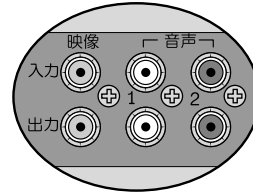


回線ケーブル(白色)で、TA(DSU)のS/T端子と接続します。



回線ケーブル(白色)で、IP通信用機器(メディアコンバータ・ADSLモデム・ケーブルモデム等)のLAN端子と接続します。

外部入出力端子



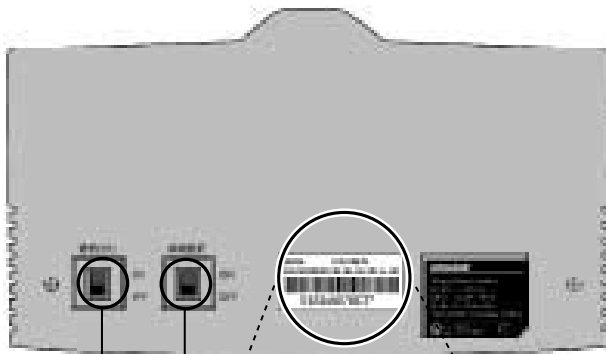
外部機器の映像・音声を入出力させる時に使用する端子です。オプションのスピーカーマイク(P112「オプション一覧」)などの外部機器を接続します。

ワープゲイトとテレビを接続する「映像用ケーブル(黄色)」は、「映像」の「出力」端子につながります。

制御用端子

オプションの可動式カメラやフラッシュベル、発呼センサ(P112「オプション一覧」)などをつなぎます。

底面図



着信出力スイッチ

の制御用端子に、オプションのフラッシュベルを接続している場合はオン可動式カメラや発呼センサを接続している場合はオフに設定します。

終端抵抗スイッチ

ISDN回線の終端抵抗オン/オフを切り替えるスイッチです。配線上の終端に接続する場合には、TA(DSU)側の終端抵抗をオフにしてこのスイッチをオンにしてください。(P109「用語集-終端抵抗」)

SERIAL

シリアル番号(製造番号)です。

MACADDRESS

LAN端子のMACアドレスです。

リモコン

よく使うリモコンボタン

電源ボタン

電源をオン/オフします。

サービスボタン

サービスメニュー画面を表示します。

取消ボタン

メニュー表示、設定等を解除します。
入力した文字を消します。
通信中に押すと、切断確認画面になります。
回線切断する場合には「決定」ボタンを押します。

決定ボタン

各種選択・設定を確定します。

数字キー

電話番号、会員番号等を入力します。

移動ボタン

メニューの選択項目を移動します。
画面制御時には、子画面の位置を移動します。



ホームページを閲覧する場合は…

ウェブゲイトでホームページを閲覧する場合は、リモコンの操作方法が異なります。(P.75「リモコン操作方法」をご参照下さい。)



503

502

のみ対応(2004年3月現在)

使用上の注意を守って下さい。



電池を入れてご使用下さい。電池交換の際は、必ず2本同時に行ってください。
1本ずつ別々に行くと故障の原因となります。
リモコン操作は、テレビではなく、ウェブゲイト本体に向けて行って下さい。

リモコンボタン機能一覧表 (ボタン名は50音順に並んでいます)

ボタン名	機能	参照ページ
移動	選択項目や子画面の位置を移動します。可動式カメラ制御時には、相手側カメラの向きを制御します。(可動式カメラは別売りです。)	
音量	ヘッドセット(または音声出力端子に接続した機器)から聞こえる音量を調節します。「-」を押すと小さくなり、「+」を押すと大きくなります。	53
改ページ	表示画面が複数ページに渡る場合、表示するページを切り替えます。	61
カメラ1	内蔵カメラの映像に切り替えます。	55
カメラ2	外付けカメラの映像に切り替えます。	55
決定	選択を確定します。	
子画面	子画面表示/非表示、子画面のサイズを切り替えます。	53
サービス	サービスマニュー画面を表示します。	59
受信画	相手から送られてくる映像を表示し、サイズを切り替えます。非通信中に押すと、「セルフチェック(機能診断)」に切り替わります。	54
状態	現在の通信状態を表示します。2回押すと詳細を表示し、3回押すと表示を消します。	58
ズーム	自分のカメラ映像のズーム機能を調節します。「T」ボタンでズームイン、「W」ボタンでズームアウトします。通信中、相手が可動式カメラ(別売り)をつけている場合は、相手側のカメラのズーム機能を調節できます。	61
静止画小	静止画を子画面に、受信画をフルスクリーンで表示します。ブラウザを起動している場合は、ブラウザが子画面に表示されます。	57
静止画送信	静止画メニュー画面が表示されます。	56
静止画大	静止画が保存されている時に押すと、静止画が大画面に表示され、静止画メニュー画面が表示されます。	56
接続	非通信中に押すと「02.ダイレクトネット」画面を表示します。通信中に押すと、保留します。	58
切断	通信中に押すと、切断確認画面になります。(回線切断する場合は「決定」ボタンを押します。)非通信中に押すと着信拒否状態になります。	59
設定	「27.設定メニュー」画面を表示します。	57
送信画	相手側に送っている自分の映像を表示します。	54
電源	電源のオン/オフを切り替えます。通信中は切断確認画面になります。(回線を切断する場合は「決定」ボタンを押します。)	57
取消	メニュー表示を消します。文字入力をする画面では、入力した文字を消します。通信中に押すと、切断確認画面になります。(回線切断する場合には「決定」ボタンを押します。)	
マイクオフ	自分の音声を、相手側に聞こえない状態にします。もう一度押すと解除します。	53
リモート	相手が可動式カメラ(別売り)を外付けしている場合、相手のカメラを調節するモードに切り替えます。	60
ローカル	相手カメラを調節するモードから、自分の端末機のカメラを調節するモードに切り替えます。	60

設置しましょう

1 きれいに映る場所を選びましょう

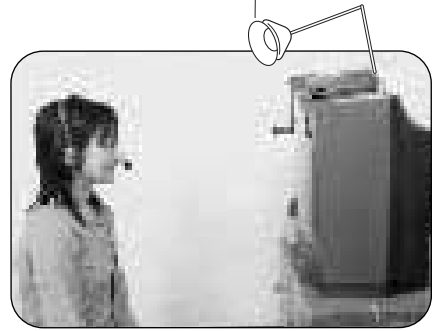
(1) 背景をシンプルにします。

背景(ご自身の後ろ側)に、物の少ない場所を選び、明るめの単色で統一すると、人物がきれいに映ります。(背後に人通りが多いと画像が乱れることがあります。)

(2) 部屋を明るくします。

逆光を避け、顔に光が当たるように配慮して下さい。顔にライトを当てると、きれいに映ります。(P.94「カメラ調整」)で、さらに映りをきれいに調節することができます。

顔にライトを当てましょう



2 ワープゲイトの設置に適した環境を選びましょう

(1) 室内に設置します。

設置環境は、寒すぎたり暑すぎたりしない場所をお選び下さい。(温度5~35℃、湿度20~80%、ただし結露しないようご注意ください)

(2) スペースにゆとりを持たせませす。

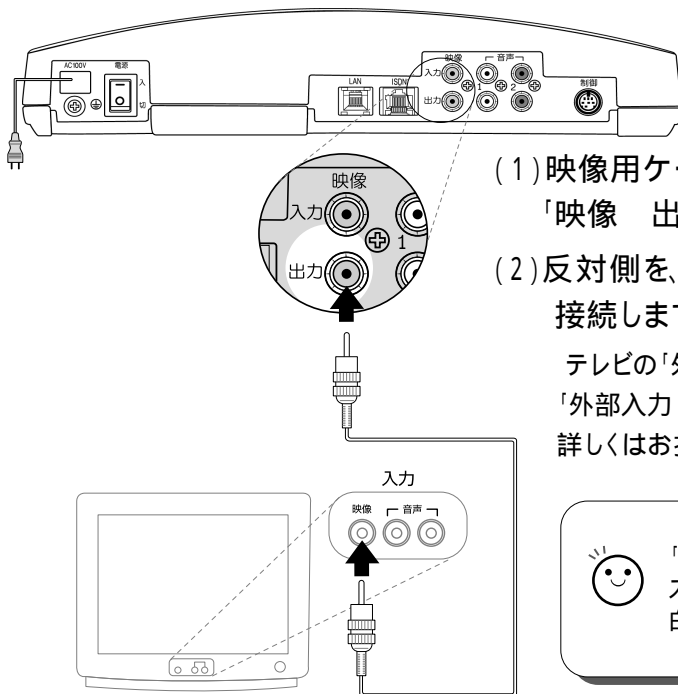
ワープゲイトに熱がこもらないように、本体の両側に5cm以上のスペースを確保して下さい。

3 設置パターンを選びましょう

ワープゲイトは、テレビに映っている通信相手とアイコンタクトが取れるよう、アイレベルカメラ(目線の位置にレンズがセットできるカメラ)を採用しています。お持ちのテレビや設置環境に合わせて、以下のパターンより選択して下さい。



4 映像用ケーブルをつなぎましょう



- (1) 映像用ケーブル(黄色)の片側を本体背面の「映像 出力」に接続します。
- (2) 反対側を、テレビの外部入力の映像端子(黄色)に接続します。

テレビの「外部入力」は、他にも「VIDEO IN」「ビデオ入力」「外部入力 - 映像」等の呼び名があります。
詳しくはお持ちのテレビの取扱説明書をお読み下さい。

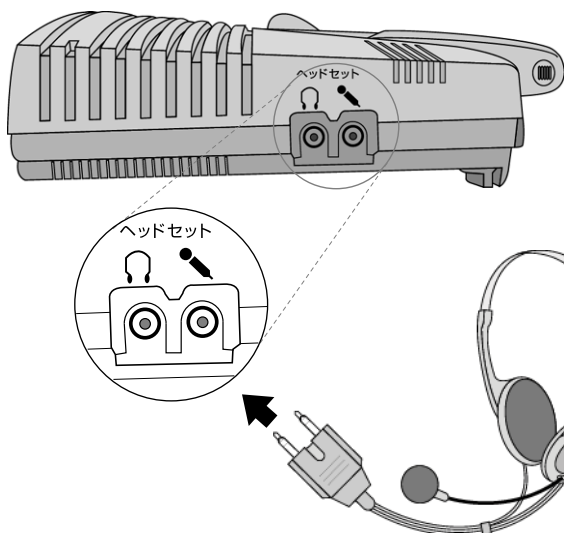


「ストリーミングサービス」をご利用時などにテレビからステレオ音声を出したい場合は、別途音声ケーブル(赤、白の端子のケーブル)をご自身でご購入下さい。



映像ケーブルを頻繁に抜き差しする環境での使用は、映像ケーブルや、接続されている機器の映像端子の故障の原因となることがあります。
ワーゲイトとビデオ等をテレビの同じ映像入力端子でご使用になる場合は、AVセクタ(映像信号を分配する装置)等を利用することをお勧めします。

5 ヘッドセットまたはハンズフリーマイクをつなぎましょう



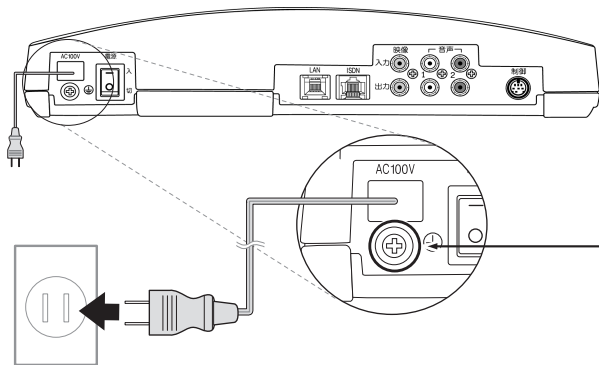
溝のある方を上面に向けて、しっかりと差し込んで下さい。

差し込み方が甘いと、相手の音声は聞こえるのに、自分の音声相手に届かないことがあります。
その場合は、ヘッドセットのプラグを1回抜いて、奥までしっかりと差し込み直して下さい。



通信中に、ヘッドセットをテレビに近づけると、雑音の原因になります。相手側に迷惑がかかりますのでご注意下さい。
ヘッドセットを本体に接続しておく場合は、接続部分に上下方向からの圧力がかからないように注意して下さい。

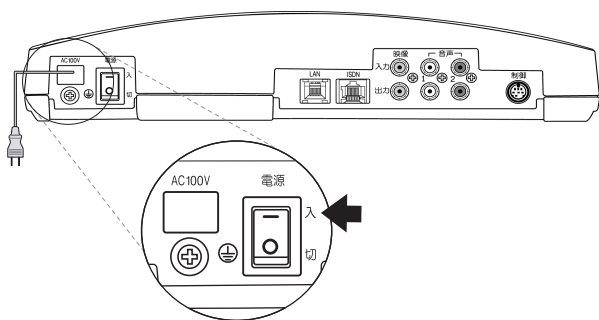
6 電源をコンセントにつなぎましょう



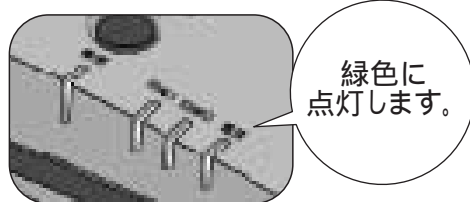
電源プラグをコンセントに差し込みます。

アースを装着して下さい。
(P108「用語集-アース」)

7 本体の主電源を入れましょう

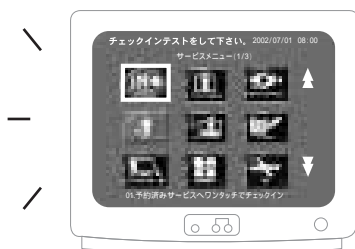


本体背面の主電源スイッチを「入」にします。しばらくすると、本体正面の「電源」ランプが緑色に点灯します。



緑色に
点灯します。

8 テレビのチャンネルを合わせましょう



テレビの電源を入れ、使用するチャンネルに合わせます。

映像用ケーブルが接続されているテレビ側の端子名と同じチャンネルに合わせます。

例：接続端子「ビデオ1」 チャンネル「ビデオ1」

：接続端子「外部入力3」 チャンネル「外部入力3」等

チャンネルが合うと、画面上に「サービスメニュー」が映ります。



画面に何も映らない場合は…

画面が真っ黒(真っ青)になっている
テレビ番組が放送されている
画面が砂嵐のようにになっている



テレビ、またはテレビのリモコンで「入力切替」「ビデオ1」「外部入力」等のボタンを押して正しいチャンネルに合わせましょう。
映像用ケーブルの接触がゆるくなっていないかを確認しましょう。

上記を確認しても何も映らない場合は、ワープゲートの主電源を切り、5秒程待ってからもう一度入れ直して下さい。それでも解決しなければ、ギンガネットテクニカルサポート(☎06-7688-1717)までご連絡下さい。

ISDN
回線

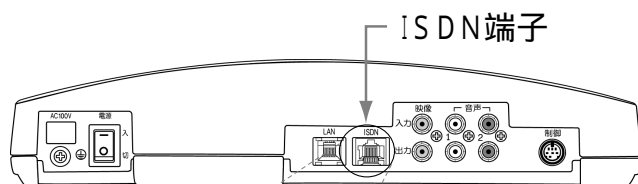


「ISDN回線をつなぎましょう」へ

IP
通信回線

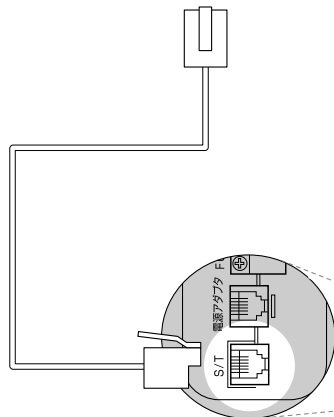


「IP通信回線をつなぎましょう」へ



(1) 回線ケーブル(白色)の片側を本体背面の「ISDN」に「カチッ」と音がするまで差し込みます。

(2) 反対側を、TA(DSU)のS/T端子に差し込みます。



TA(DSU)

「S/T端子」には他にも「ISDN接続ポート」「S/Tラインコネクタ」「ISDN S/T点」等の呼び名があります。

詳しくはお持ちのTA(DSU)の取扱説明書をお読み下さい。

この図は、NTT「INSメイトV30 Slim」をモデルにしています。他機種をご利用になる場合は、お持ちのTA(DSU)の取扱説明書をお読み下さい。

NTTや電器店等で「INSメイトV30 Slim」を購入した場合、「S/T端子」はついておりません。NTT製オプション製品の「S/Tユニット」を別途ご購入頂く必要があります。



S/T端子のついていないTA(DSU)では使用できません。お持ちのTA(DSU)にS/T端子がついているかどうかをご確認下さい。ご不明な方はお持ちのTA(DSU)のメーカー名と型番をギンガネットテクニカルサポート(06-7688-1717)までお知らせ頂ければ、お調べ致します。

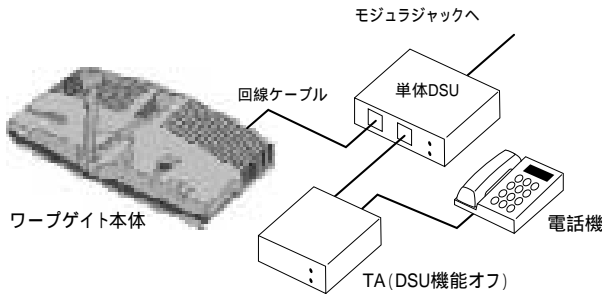
ワーブゲイト本体の底面に終端抵抗スイッチがついています。配線上の終端に接続する場合には、TA(DSU)の終端抵抗を「オフ」、ワーブゲイトの終端抵抗を「オン」にして下さい。

(P 14 「各部の名称と役割-終端抵抗スイッチ」)

TA(DSU)と10メートル以上離れた場所にワーブゲイトを設置するには、別途LANケーブル(ストレートタイプ・カテゴリ5・8極8芯)をご購入下さい。

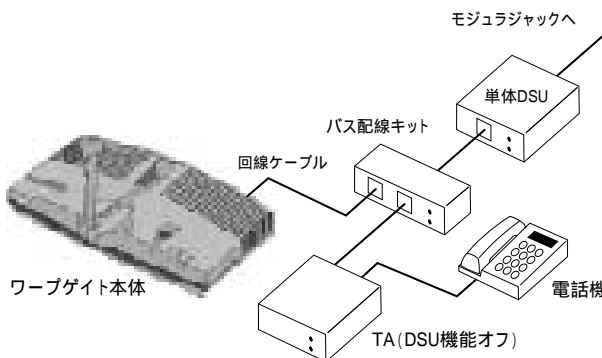
TA機能を持たない単体DSUの場合

● 単体DSUにS/T端子が2つある場合



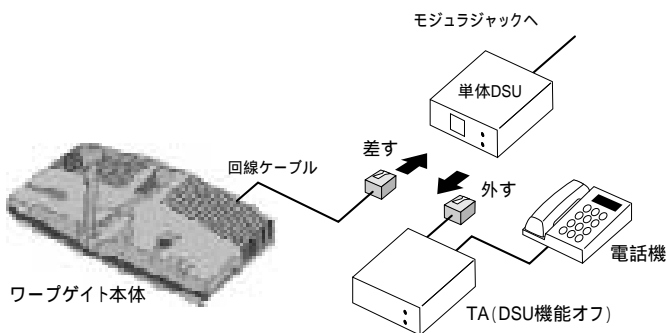
DSUのS/T端子にワープゲイトの回線ケーブルを差し込んで下さい。

● バス配線キットを使用する場合



単体DSUの後にバス配線キット(S/T端子を複数口に変換する装置)を取りつけて、バス配線キットのS/T端子にワープゲイトの回線ケーブルを差し込んで下さい。

● 単体DSUにS/T端子が1つある場合



DSUのS/T端子にワープゲイトの回線ケーブルを差し込んで下さい。

ワープゲイトの差し直しをする前に、TAに接続された通信機器等の回線を全て切断して下さい。そうしないと、数分間ワープゲイトで通信を行うことができなくなる場合もありますのでご注意下さい。



S/T端子のついていないTA(DSU)では使用できません。お持ちのTA(DSU)にS/T端子がついているかどうかをご確認下さい。ご不明な方は、お持ちのTA(DSU)のメーカー名と型番をギンガネットテクニカルサポート(06-7688-1717)までお知らせ頂ければ、お調べ致します。

ワープゲイト本体の底面に終端抵抗スイッチがついています。配線上の終端に接続する場合には、TA(DSU)の終端抵抗を「オフ」、ワープゲイトの終端抵抗を「オン」にして下さい。(P14「各部の名称と役割-終端抵抗スイッチ」)

TA(DSU)と10メートル以上離れた場所にワープゲイトを設置するには、別途LANケーブル(ストレートタイプ・カテゴリ5・8極8芯)をご購入下さい。

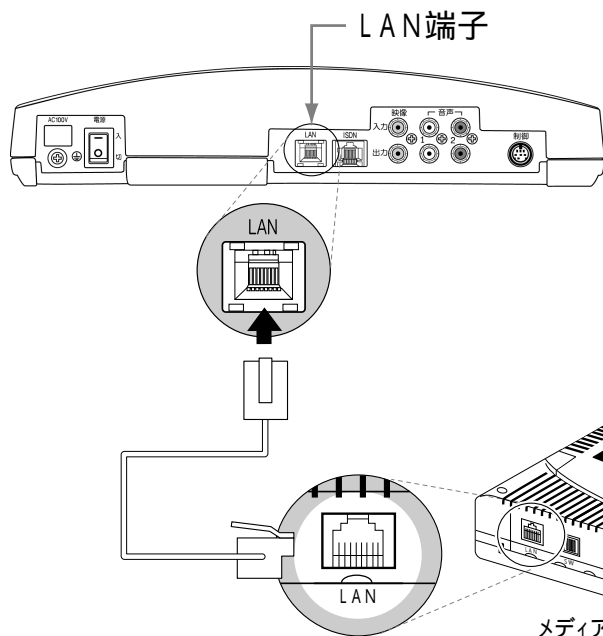


「会員情報の登録をしましょう」のページへ
進み、会員情報の登録を行って下さい。



「会員情報の登録をしましょう」へ

ルータを経由しない場合



(1) 回線ケーブル(白色)の片側を、本体背面の「LAN」に「カチッ」と音がするまで差し込みます。

(2) 反対側を、メディアコンバータ(もしくは、ADSLモデム、ケーブルモデム等)のLAN端子に差し込みます。

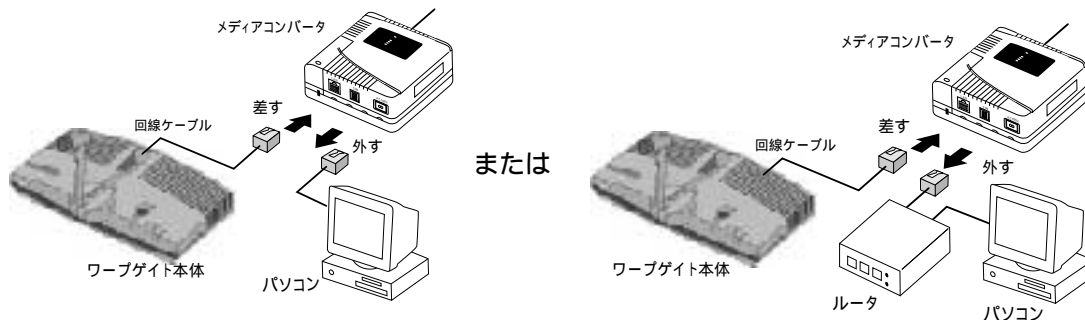
「LAN端子」は他にも「LANポート」「イーサポート」「Ether」等の呼び名があります。詳しくは、お持ちのメディアコンバータ等の取扱説明書をお読み下さい。



ADSLモデムの中にはルータを内蔵しているタイプもあります。メーカーの取扱説明書等でご確認下さい。ルータ内蔵タイプの場合は、ワープゲイトで通信ができるようにルータの設定が必要です。(P.27「ルータを経由する場合の設定例」)

● パソコン、ルータとワープゲイトを差し替える場合

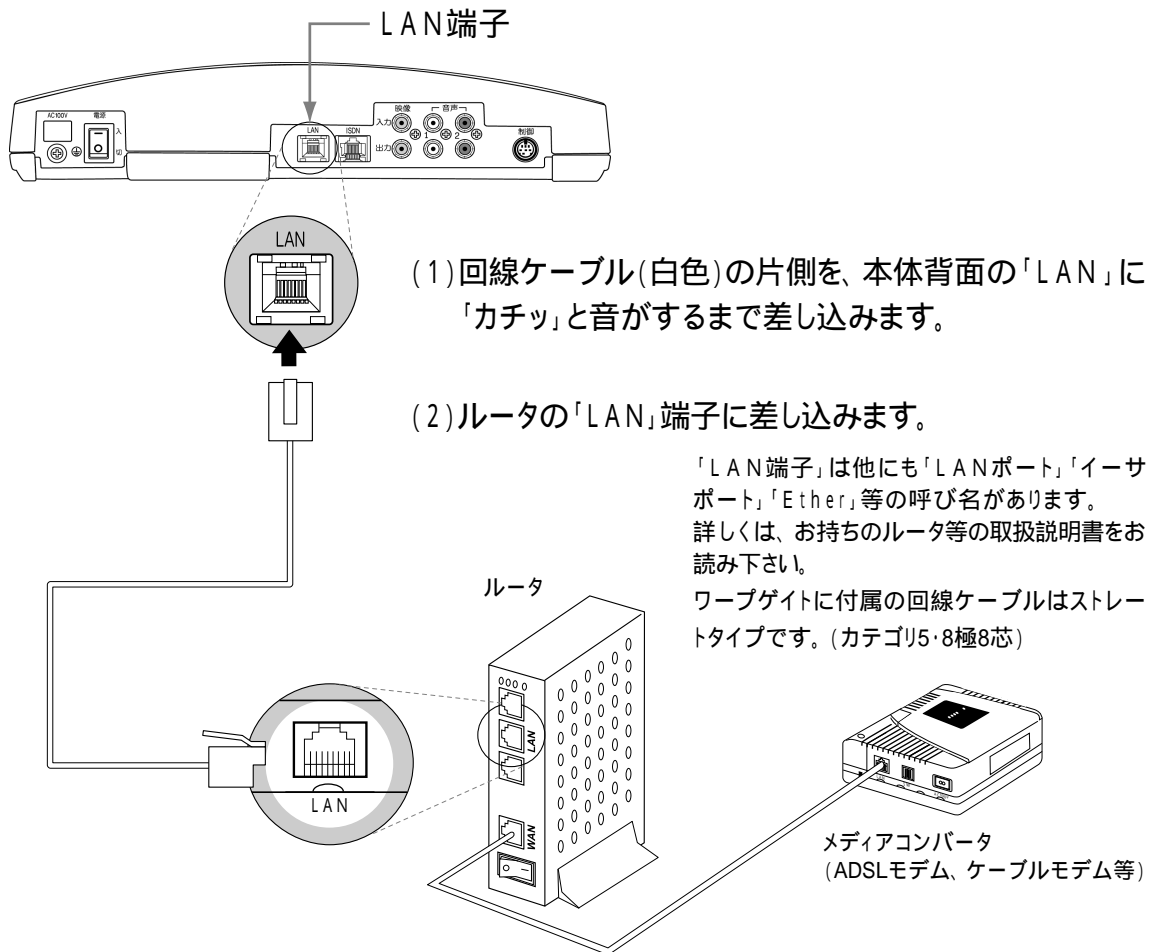
ルータをお持ちでない場合、またはルータを経由せずにワープゲイトを使用する場合は、まずパソコンでIPアドレスの解放を行って下さい。次にパソコン、またはルータにつながっているLANケーブルをメディアコンバータ(ADSLモデム・ケーブルモデム等)から外して下さい。最後にワープゲイトの回線ケーブルに差し替えて下さい。



ワープゲイトの差し直しをする前に、パソコンでIPアドレスの解放を行って下さい。解放をせずにワープゲイトに差し直した場合、数十分間ワープゲイトで通信を行うことができなくなる場合がありますのでご注意下さい。

ADSLモデムの中にはルータを内蔵しているタイプもあります。メーカーの取扱説明書等でご確認下さい。ルータ内蔵タイプの場合は、ワープゲイトで通信ができるようにルータの設定が必要です。(P.27「ルータを経由する場合の設定例」)

ルータを経由する場合



「IP接続設定をしましょう」のページに進み、IP接続の設定を行って下さい。



24

「IP接続設定をしましょう」へ



ISDN回線を使用する場合は
設定の必要はありません。
33へ進みましょう

IP接続設定画面を確認しましょう

1 「27.設定」アイコンを選択しましょう



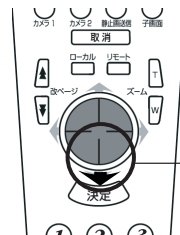
サービスメニュー1ページ目(1/3)



サービスメニュー2ページ目(2/3)



サービスメニュー3ページ目(3/3)

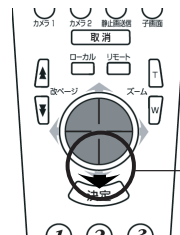


(1) リモコンの「移動」ボタンの下部を押し、黄色の選択棒を下へ移動させます。

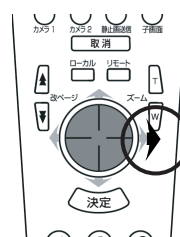
黄色の選択棒は、「移動」ボタンを押した方向に動きます。棒で囲まれたアイコンが、その時選択されているサービスです。

選択されたサービス名は画面下に表示されます。

リモコンはテレビではなくワープゲイト本体に向けて操作して下さい。

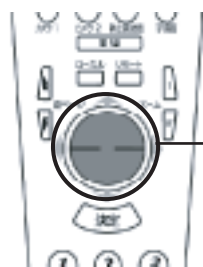


選択棒が画面の1番下にある状態でもう1度押しと、次のページに移ります。



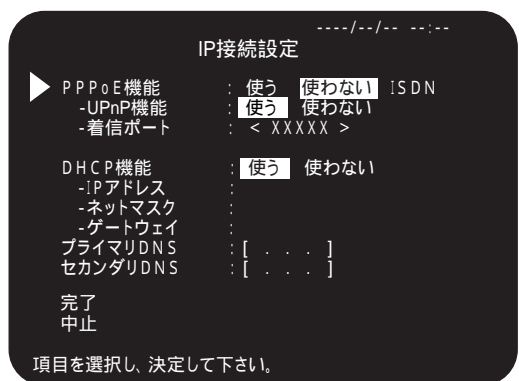
(2) サービスメニューの3ページ目(「サービスメニュー(3/3)」と表示されます)にある「27.設定」アイコンを選択し、「決定」ボタンを押します。

2 「IP接続設定」アイコンを選択しましょう



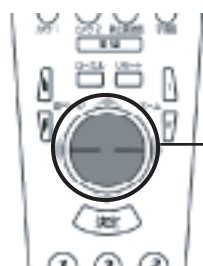
「移動」ボタンで「IP接続設定」のアイコンを選択し、「決定」ボタンを押します。

3 IP接続設定画面について



IP接続設定画面

(1)「移動」ボタンの「上」または「下」を押して、設定したい項目の横に三角のマーク(▶)を合わせます。



「PPPoE機能」の「ISDN」の選択肢、および「UPnP機能」「着信ポート」の設定項目はありません。

(2)以下A.B.Cいずれかの方法で設定項目内容を選択・入力します。

A 選択する項目が反転表示されている場合

・「PPPoE機能」、「UPnP機能」、「DHCP機能」
「移動」ボタンの「右」または「左」を押して、選択します。

B 選択肢がある場合(<>で表示されます。)

・「着信ポート」
「移動」ボタンの「右」または「左」を押して、希望の設定を選択します。

C 文字を入力する場合([]で表示されます。)

・「IPアドレス」、「ネットマスク」、「ゲートウェイ」、「プライマリDNS」、「セカンダリDNS」
「数字キー」で設定したい数字を入力します。

・「ユーザ名」、「パスワード」

「移動」ボタンの上下で三角のマーク(▶)を「ユーザ名」に合わせて、「決定」ボタンを押すと、文字入力画面に進みます。「移動」ボタンで文字を選択し、「決定」ボタンを押すと、入力できます。

訂正する場合は「取消」ボタンを押すと、右端から文字が削除されます。

パスワードは、どの文字を入力しても、「×」で表示されます。入力間違いにご注意下さい。



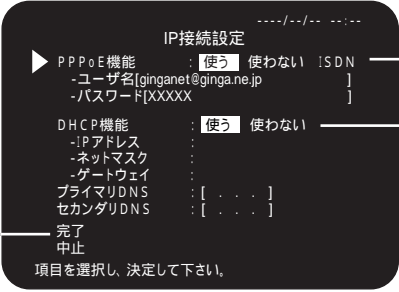
ルータを経由しない場合 ●▶ 26「ルータを経由しない場合の設定例」へ

ルータを経由して接続する場合 ●▶ 27「ルータを経由する場合の設定例」へ

ルータを経由しない場合の設定例

ルータを経由しない場合は、インターネットプロバイダから指定された設定をワーゲイトに行う必要があります。

● インターネットプロバイダからユーザ名、パスワードが割り振られている場合 (PPPoE機能を使用するプロバイダの場合の設定例)



IP接続設定

PPPoE機能 : 使う 使わない ISDN : []

-ユーザ名 [ginganet@ginga.ne.jp]]

-パスワード [XXXXX]

DHCP機能 : 使う 使わない

-IPアドレス [: : :]

-ネットマスク [: :]

-ゲートウェイ [: :]

プライマリDNS [: :]

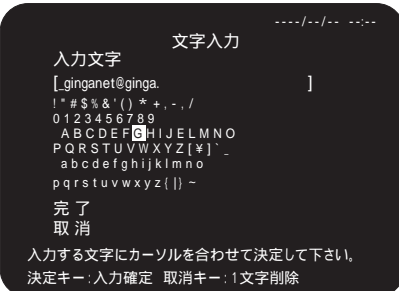
セカンダリDNS [: :]

完了

中止

項目を選択し、決定して下さい。

IP接続設定画面



文字入力

入力文字 [_ginganet@ginga.]

! " # \$ % & ' () * + , - . /

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

A B C D E F G H I J K L M N O

P Q R S T U V W X Y Z [] ^ _

a b c d e f g h i j k l m n o

p q r s t u v w x y z { } ~

完了

取消

入力する文字にカーソルを合わせて決定して下さい。

決定キー : 入力確定 取消キー : 文字削除

文字入力画面

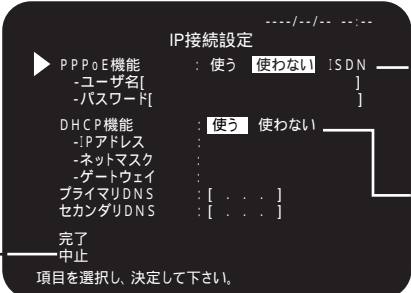
- (1) PPPoE機能を「使う」に設定します。
「移動」ボタンの上下で三角のマーク(▶)を「PPPoE機能」に合わせ、「移動」ボタンの左右で<使う>を反転表示させます。
- (2) インターネットプロバイダから指定されたユーザ名、パスワードを入力しましょう。
「移動」ボタンの上下で三角のマーク(▶)を「ユーザ名」に合わせて、「決定」ボタンを押すと、文字入力画面に進みます。「移動」ボタンで文字を選択し、「決定」ボタンを押すと、入力ができます。
訂正する場合は「取消」ボタンを押すと、右端から文字が削除されます。
パスワードは、どの文字を入力しても、「×」で表示されます。入力間違いにご注意下さい。
- (3) 入力を完了します。
入力が終わったら、「移動」ボタンで「完了」を選択し、「決定」ボタンを押します。
- (4) DHCP機能を「使う」に設定します。
- (5) 設定を完了します。
「完了」を選択し、「決定」ボタンを押します。

各項目名は、インターネットプロバイダによって異なります。(P111「プロバイダ読替表」)
詳しくは、契約しているインターネットプロバイダにお問い合わせ下さい。



「1926 DNSサーバアドレスが未取得です」のエラーメッセージが出る場合は、インターネットプロバイダより指定された「プライマリDNS」「セカンダリDNS」を入力して下さい。通常は自動的に取得されます。

● インターネットプロバイダからユーザ名、パスワードが割り振られていない場合 (PPPoE機能を使用しないプロバイダの場合の設定例)



IP接続設定

PPPoE機能 : 使う 使わない ISDN : []

-ユーザ名 []]

-パスワード []]

DHCP機能 : 使う 使わない

-IPアドレス [: : :]

-ネットマスク [: :]

-ゲートウェイ [: :]

プライマリDNS [: :]

セカンダリDNS [: :]

完了

中止

項目を選択し、決定して下さい。

IP接続設定画面

- (1) PPPoE機能を「使わない」に設定します。
「移動」ボタンの上下で三角のマーク(▶)を「PPPoE機能」に合わせ、「移動」ボタンの左右で<使わない>を反転表示させます。
- (2) DHCP機能の「使う」、「使わない」を選択します。
固定IPアドレスのサービスを利用している場合は、「使わない」を選択し、プロバイダの指定に従い各項目を入力します。それ以外は「使う」を選択します。
- (3) 設定を完了します。
「完了」を選択し、「決定」ボタンを押します。



「会員情報の登録をしましょう」のページへ
進み、会員情報の登録を行って下さい。

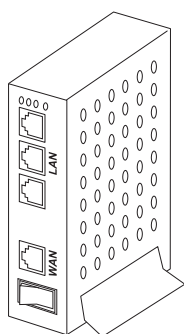


33

「会員情報の登録をしましょう」へ

ルータを経由する場合の設定例

ルータを経由する場合は、ワープロゲイトだけでなくルータにも設定が必要です。



お持ちのルータがUPnP機能(ユニバーサル・プラグ・アンド・プレイ)に対応しているかいないかによって、ワープロゲイトとルータに対して行う設定内容が異なります。

お持ちのルータにUPnP機能に対応しているかどうかご確認ください。



UPnP(ユニバーサル・プラグ・アンド・プレイ)機能とは？

ネットワークに接続している機器の通信ポートの割り当て等を自動で行う機能です。難しい設定をしなくても、ワープロゲイトをルータにつなぐだけで、ワープロゲイトがルータに対して必要な設定を自動的に行います。

お持ちのルータはUPnP機能に対応していますか？

UPnP機能に対応している

自動

「自動設定(UPnP機能を使い、ポートマッピングを自動で設定)の場合」

→  28へ


UPnP機能に対応していない

手動

「ご自身で設定(ポートマッピング/パケットフィルタリングを手動で設定)の場合」

→  29へ



ワープロゲイトのブラウザでルータの設定をすることが出来ます。
( 32「ワープロゲイトのブラウザでルータの設定を行う」)

ルータの設定に関する注意点



レンタルのモデムの中には、設定を変更するとメーカーの無償保証が適用されなくなるものがあります。

ルータ使用時のトラブルで、プロバイダのトラブルサポートセンターからルータの設定リセットの案内を受けることがありますが、その際は設定を再度行う必要がありますのでご注意ください。当社ではルータの設置・設定サポートは行っておりません。お持ちのルータの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせ下さい。または、有料の設置訪問サポート業者のサービスをご利用下さい。

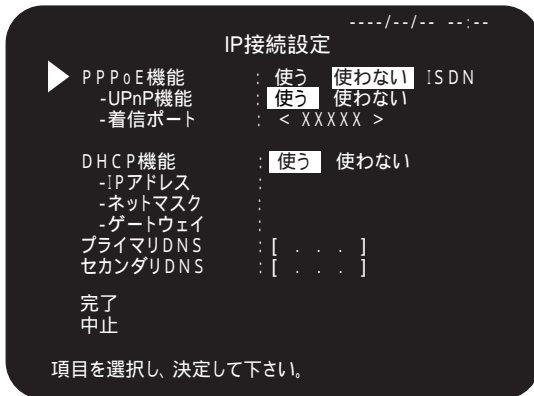
ADSLモデムの中にはルータを内蔵しているタイプもあります。メーカーの取扱説明書等でご確認ください。

自動

自動で設定(UPnP機能を使い、ポートマッピングを自動で設定)の場合

UPnP(ユニバーサル・プラグ・アンド・プレイ)機能に対応したルータをご使用の場合は、自動的にワーゲイトがルータに対して必要な設定を行います。

ワーゲイトに行う設定



IP接続設定画面

お買い上げ時の設定のままでお使い頂けます。

PPPoE機能・・・「使わない」



-UPnP機能・・・「使う」

-着信ポート・・・自動で設定されます。

DHCP機能・・・「使う」

プライマリDNS・・・空欄

セカンダリDNS・・・空欄

501

「UPnP機能」および「着信ポート」の設定項目はありません。


ルータに行う設定

インターネットに接続できる環境を整えてください。

インターネットプロバイダまたはルータメーカーの案内に従って、インターネットに接続できる(ホームページやメールのやりとりができる)環境を準備して下さい。

ルータのUPnP(ユニバーサル・プラグ・アンド・プレイ)機能を「オン」に設定して下さい。



UPnP機能の設定を行ってもルータによってはワーゲイトでうまく通信できない場合があります。その場合は、 29「ご自身で設定(ポートマッピング・パケットフィルタを手動で設定)を行う場合」を参照してワーゲイトとルータの設定を行って下さい。

また、UPnP機能に対応したルータをお使いでも、UPnP機能使わずにご自宅のネットワーク環境に合わせて手動でIPアドレス、ネットマスク、ゲートウェイを指定することができます。

以上でワーゲイトとルータのIP接続設定は完了です。



「会員情報の登録をしましょう」のページへ
進み、会員情報の登録を行って下さい。



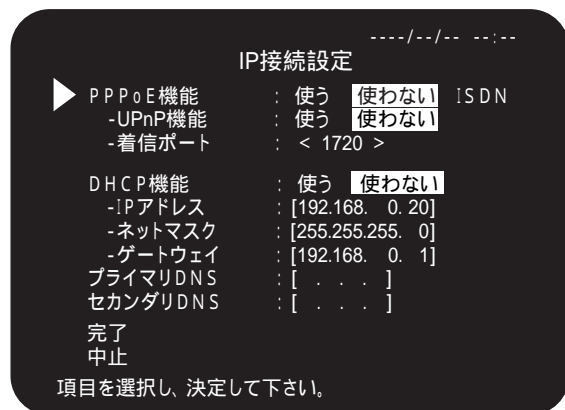
「会員情報の登録をしましょう」へ

手動

ご自身で設定(ポートマッピング/パケットフィルタリングを手動で設定)を行う場合

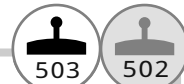
UPnP機能に対応していないルータをご使用の場合、またはUPnP機能が動作しない場合は、ワーブゲイトを設定後、ご自身でポートマッピングとパケットフィルタリングをルータに設定することで通信を行うことができます。

ワーブゲイトに行く設定



IP接続設定画面

PPPoE機能・・・リモコンの「移動」ボタンで、「使わない」を選択します。



UPnP機能・・・「移動」ボタンで「使わない」を選択します。

着信ポート・・・ワーブゲイトが着信するポートです。基本的にはお買い上げ時の設定<1720>のままでお使い頂けます。

他の通信機器と重複するポート番号を使用することは出来ません。着信ポートが重なって正常に動作しない場合は、環境に合わせて設定値を変更することができます。三角のマーク(▶)を合わせ、「移動」ボタンの左右を押すと、20ずつ設定値が増えます。(P.31「高度な機能」)

DHCP機能・・・「移動」ボタンの左右を押して、「使わない」を選択します。

IPアドレス・・・設定例では「192.168.0.20」を入力しています。

通常は「192.168.0.XXX」先頭の3つの数字はルータのLAN側のIPアドレス(ゲートウェイ)と同じ数字を入力して下さい。XXXの部分は1～254の間の数字でルータのLAN側のIPアドレスや他に接続されている通信機器(パソコン等)に割り当てていないお好きな数字を入力して下さい。



コンマ(.)で区切られた4つの数字はIPアドレスと言い、ネットワーク内のアドレス(住所)を示す数字になります。

ネットマスク・・・通常は「255.255.255.0」を入力して下さい。

ルータのLAN側のIPアドレス(ゲートウェイ)によっては他の数字を入力する場合があります。

ゲートウェイ・・・設定例では「192.168.0.1」を入力しています。

ルータのLAN側のIPアドレス(ゲートウェイ)を入力して下さい。
「192.168.1.1」、「192.168.0.254」等ルータにより値が異なりますのでご注意ください。

プライマリDNS・・・基本的には入力する必要はありません。

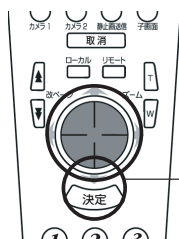
セカンダリDNS・・・基本的には入力する必要はありません。



上記は例です。ネットワーク環境は個々により異なりますので、環境に合わせた設定を行って下さい。



「1926 DNSサーバアドレスが未取得です」のエラーメッセージが出る場合は、インターネットプロバイダより指定された「プライマリDNS」、「セカンダリDNS」を入力して下さい。通常は自動的に取得されます。



以上で、ワーブゲイトに対して行う設定は完了です。

三角のマーク(▶)を「完了」に合わせ、「決定」ボタンを押します。

ルータに行く設定

インターネットに接続できる環境を整えて下さい。

インターネットプロバイダまたはルータメーカーの案内に従って、インターネットに接続できる環境を準備して下さい。

ポートマッピングの設定を行って下さい。

プロトコル	ポート番号	転送先IPアドレス
TCP	1720	192.168.0.20 <small>ワーブゲイトに割り当てたIPアドレス</small>
TCP	51000 ~ 51007	192.168.0.20
UDP	1719	192.168.0.20
UDP	61000 ~ 61015	192.168.0.20

パケットフィルタリングの「許可」設定を行って下さい。

方向	プロトコル	送信元		送信先	
		IPアドレス	ポート番号	IPアドレス	ポート番号
LAN → WAN	TCP	192.168.0.20 <small>ワーブゲイトに割り当てたIPアドレス</small>	* <small>(*は全てを表現)</small>	*	52000 ~ 52001
	TCP	192.168.0.20	51000 ~ 51007	*	*
	UDP	192.168.0.20	61000 ~ 61015	*	*
WAN → LAN	TCP	*	*	192.168.0.20	1720
	TCP	*	*	192.168.0.20	51000 ~ 51007
	UDP	*	*	192.168.0.20	1719
	UDP	*	*	192.168.0.20	61000 ~ 61015

ポートマッピング・パケットフィルタリングの呼び名はルータメーカーにより異なります。

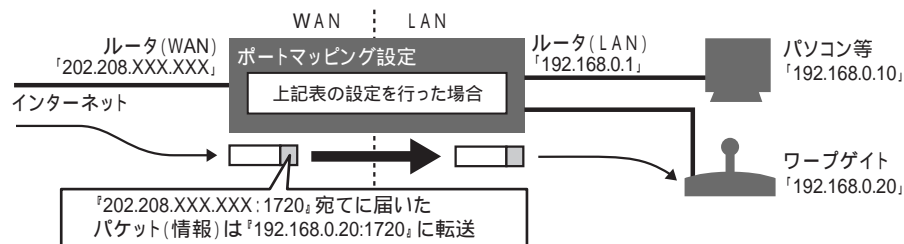
(P.111「ルータ機能名称読替表」)

ポートマッピング、パケットフィルタリングの設定方法はルータにより異なりますので、お持ちのルータの取扱説明書を読みながら設定するか、ルータメーカーに設定方法をお問い合わせ下さい。



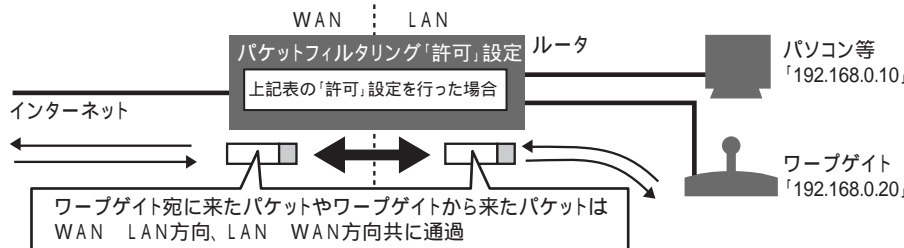
ポートマッピングとは？

WAN(インターネットの世界)からルータへ届いたパケット(情報)をLAN(自宅のネットワーク内)のワーブゲイトのIPアドレス宛に転送する機能です。



パケットフィルタリングとは？

ルータのセキュリティ機能のひとつでWAN LAN間のパケット(情報)の通過を禁止・許可します。インターネットからワーブゲイトの向き(WAN LAN方向)のパケットとワーブゲイトからインターネット(LAN WAN方向)のパケットがルータを通過できるように「許可」に設定して下さい。



以上でワーブゲイトとルータのIP接続設定は完了です。



「会員情報の登録をしましょう」のページへ
進み、会員情報の登録を行って下さい。



33
「会員情報の登録をしましょう」へ

高度な機能



ワーブゲイトは設定を行うことで1つのグローバルIPアドレス配下のネットワーク上に最大50台まで同時に設置することができます。

自動

UPnP機能に対応したルータをご使用の場合
 ワーブゲイトがルータに対して設定を自動的に行うので、ワーブゲイトはお買い上げ時の設定で通信を行うことができます。UPnP機能を使ってもうまく通信できない、または、UPnP機能に対応していないルータをご使用の場合は下記の手動設定を行って下さい。
 IP通信回線の帯域が小さい場合やルータの性能によっては、正しい設定を行っていても、同時に通信できない場合があります。

手動

UPnP機能に対応していないルータをご使用の場合
 1つのグローバルIPアドレスに対して、端末ごとに異なる着信ポートを割り当てることで通信を行うことができます。(1台目:1720、2台目以降:50020~50980)
 IP通信回線の帯域が小さい場合やルータの性能によっては、正しい設定を行っていても、同時に通信できない場合があります。



ワーブゲイトに行く設定

▶ -着信ポート : < 1720 >

着信ポート・・・三角のマーク(▶)を合わせ、「移動」ボタンの左右で設定値を選びます。

左右ボタンを押すごとに「1720」「50020」「50040」...と着信ポートの設定値を変更することができます。

1台目は「1720」、2台目以降は「50020」、「50040」...というように、異なる着信ポートを割り当てて下さい。

その他のIP接続設定はワーブゲイトを設置するネットワークの環境に合わせて設定して下さい。



ルータに行く設定

インターネットに接続できる環境を整えて下さい。
 インターネットプロバイダもしくはルータメーカーの案内に従って、インターネットに接続できる環境を準備して下さい。

ポートマッピングの設定を行って下さい。

ワーブゲイトに設定した着信ポート(1720、50020~50980)に対して、ポートマッピングとパケットフィルタリングの設定を行います。1台目のワーブゲイトに対しては30の表に従ってルータの設定を行って下さい。2台目以降のワーブゲイトに対しては、下記表を参考にルータの設定を行って下さい。

プロトコル	ポート番号	転送先IPアドレス
TCP	50000 + 20n	192.168.0.XXX <small>ワーブゲイトに割り当てたIPアドレス</small>
TCP	51000 + 20n ~ 51007 + 20n	192.168.0.XXX
UDP	60000 + 20n	192.168.0.XXX
UDP	61000 + 20n ~ 61015 + 20n	192.168.0.XXX

パケットフィルタリングの設定を行って下さい。

方向	プロトコル	送信元		送信先	
		IPアドレス	ポート番号	IPアドレス	ポート番号
LAN → WAN	TCP	192.168.0.XXX <small>ワーブゲイトに割り当てたIPアドレス</small>	*	*	52000 ~ 52001
	TCP	192.168.0.XXX	51000 + 20n ~ 51007 + 20n	*	*
	UDP	192.168.0.XXX	61000 + 20n ~ 61015 + 20n	*	*
WAN → LAN	TCP	*	*	192.168.0.XXX	50000 + 20n
	TCP	*	*	192.168.0.XXX	51000 + 20n ~ 51007 + 20n
	UDP	*	*	192.168.0.XXX	60000 + 20n
	UDP	*	*	192.168.0.XXX	61000 + 20n ~ 61015 + 20n

2台目:n=1、3台目:n=2...というように「n」に数字を入れた場合の数値を設定して下さい。



ワーブゲイトのブラウザでルータの設定を行う

以下の条件に当てはまる場合、「IP接続設定」からワーブゲイトの操作でルータの設定を行うことができます。

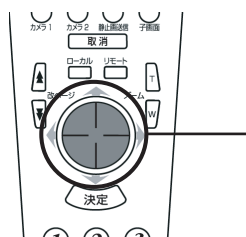
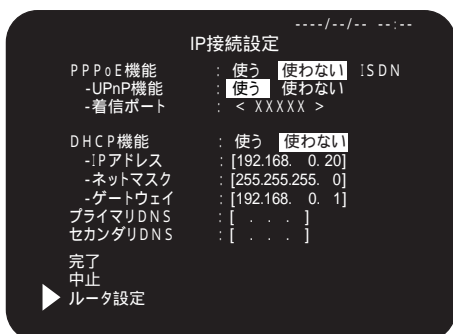
ワーブゲイトにてルータの設定が出来る条件

ブラウザで設定できるルータであること。
PPPoEを「使う」以外の設定であり、かつLAN通信が可能な状態である。
ゲートウェイに設定しているIPアドレス(DHCP機能で取得したものを含む)が、プライベートIPアドレスである。



上記に当てはまらない場合は、パソコンで設定する等、他の方法でルータの設定を行ってください。

設定方法



(1) 「移動」ボタンで三角マーク(▶)

を「ルータ設定」に合わせ、「決定」ボタンを押します。

ワーブゲイトがルータに接続され、上記の条件に当てはまる場合のみ、「ルータ設定」がIP接続設定画面に表示されます。それ以外のときは画面には「ルータ設定」の項目は表示されません。

(2) ルータの設定画面にて、リモコンで操作しながら必要な設定を行ってください。

ID、パスワードの入力等、文字を入力する場合は、画面上に出てくるキーボードで入力します。

(78「文字の入力方法」)



お持ちのルータによって、設定画面、設定方法は異なります。実際の設定の仕方については、お持ちのルータの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせ下さい。

会員情報の登録をしましょう

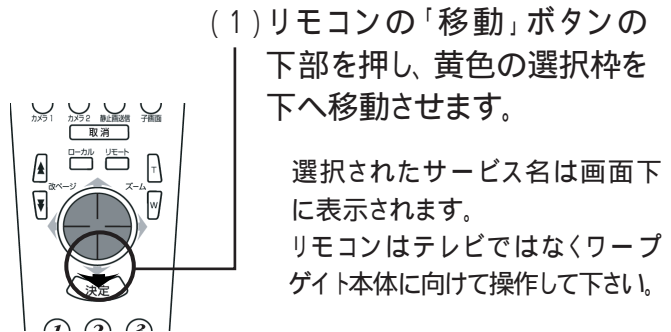


弊社より別送の「登録内容確認票」(黄色の紙)をお手元にご用意下さい。

1 「27.設定」アイコンを選択しましょう



サービスメニュー1ページ目(1/3)

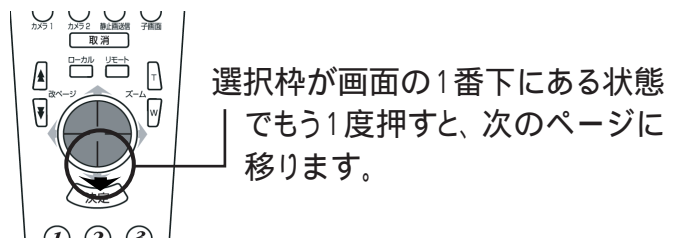


(1) リモコンの「移動」ボタンの下部を押し、黄色の選択枠を下へ移動させます。

選択されたサービス名は画面下に表示されます。
リモコンはテレビではなくワープゲイト本体に向けて操作して下さい。



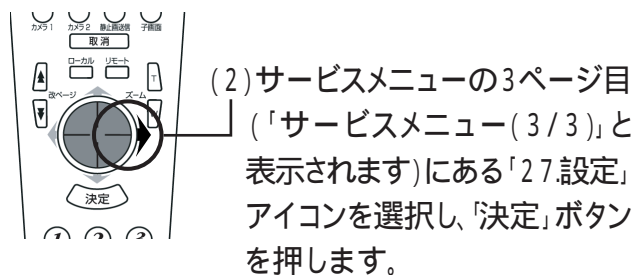
サービスメニュー2ページ目(2/3)



選択枠が画面の1番下にある状態でもう1度押しすと、次のページに移ります。



サービスメニュー3ページ目(3/3)



(2) サービスメニューの3ページ目(「サービスメニュー(3/3)」と表示されます)にある「27.設定」アイコンを選択し、「決定」ボタンを押します。



セットアップ編

・会員情報の登録をしましょう
・IP接続設定をしましょう

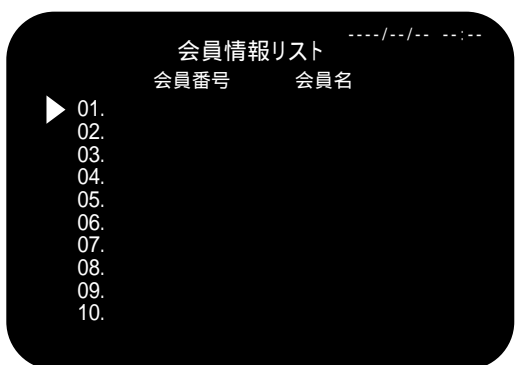
2 「会員情報設定」アイコンを選択しましょう



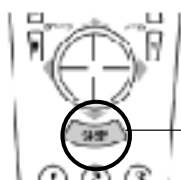
「会員情報設定」アイコンを選択して「決定」ボタンを押します。



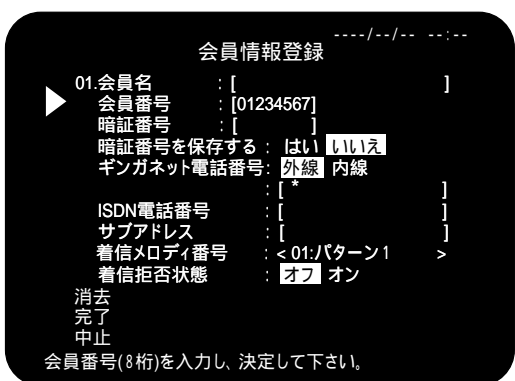
3 会員情報リストより番号を選択しましょう



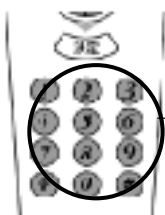
「移動」ボタンで、登録したい任意の番号に三角のマーク(▶)を合わせ、「決定」ボタンを押します。



4 会員番号と暗証番号を登録しましょう



三角のマーク(▶)を会員番号に合わせ、「数字キー」で登録内容確認票に記載の8桁の会員番号を入力します。
(左図の例では、会員情報リストの「01」に登録しています。)



暗証番号を保存する場合は

三角のマーク(▶)を「暗証番号」に合わせ、「数字キー」で4桁の暗証番号を入力します。どの数字を入力しても画面には「XXXX」と表示されます。入力間違いにご注意下さい。ご自身で決めた暗証番号を入力しても無効です。

三角のマーク(▶)を「暗証番号を保存する」に合わせ、「移動」ボタンの左右で「はい」を選択して下さい。



暗証番号を保存しておく、チェックインの度に暗証番号を入力する手間が省けるので便利です。ただし、本人以外でもチェックインできてしまいますので、その点をご了承の上、登録して下さい。

5 電話番号を登録しましょう

会員情報登録

01. 会員名	:	[]
会員番号	:	[01234567]
暗証番号	:	[XXXX]
暗証番号を保存する	:	はい いいえ
ギンガネット電話番号	:	外線 内線
	:	[*01234567]
ISDN電話番号	:	[]
サブアドレス	:	[]
着信メロディ番号	:	< 01:パターン1 >
着信拒否状態	:	オフ オン

消去
完了
中止

会員番号(8桁)を入力し、決定して下さい。



IP通信回線 IP通信回線をご使用の場合

「登録内容確認票」(黄色の紙)に従って、「外線 内線」の選択と、「ギンガネット電話番号」の登録を行って下さい。

それぞれの項目に三角のマーク(▶)を合わせ、「方向キー」の左右で「外線 内線」を選択し、「数字キー」で「ギンガネット電話番号」の入力をします。

ギンガネット電話番号

- ・IP回線をご利用の場合、ギンガネット電話番号で相手にテレビ電話をかけることができます。
- ・「内線」ギンガネット電話番号は、自由に数字が設定でき、グループ内でしか通用しない番号の為、セキュリティ面でも安心です(別途登録要/有料)。(93「会員情報設定 ギンガネット電話番号」)

ISDN回線 ISDN回線をご使用の場合

三角のマーク(▶)を「ISDN電話番号」の項目に合わせ、「数字キー」で設置環境の電話番号を入力します。



サブアドレスを設定しておく、かける方が電話番号の後に「*サブアドレス」を入力してかけることでワープゲイトのみに着信するようになります。通常は入力する必要はありません。

6 登録を完了しましょう

会員情報登録

01. 会員名	:	[]
会員番号	:	[01234567]
暗証番号	:	[XXXX]
暗証番号を保存する	:	はい いいえ
ギンガネット電話番号	:	外線 内線
	:	[*01234567]
ISDN電話番号	:	[]
サブアドレス	:	[]
着信メロディ番号	:	< 01:パターン1 >
着信拒否状態	:	オフ オン

消去
完了
中止

会員番号(8桁)を入力し、決定して下さい。



三角マーク(▶)を「完了」に合わせ、「決定」ボタンを押します。

入力した設定を破棄して設定メニュー画面に戻る場合は、「中止」を選択して「決定」ボタンを押します。

7 リストに会員番号が登録されます

会員情報リスト

01.	会員番号	会員名
▶ 01.	01234567	G電話番号*01234567
02.		
03.		
04.		
05.		
06.		
07.		
08.		
09.		
10.		

方向キーで選択し、決定にて登録に進みます。

リストにご自分の会員番号が表示されているかを確認します。

登録が終了したら、「サービス」ボタンを押して、サービスメニューに戻ります。

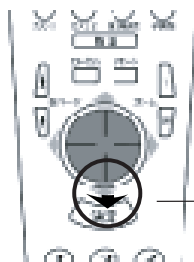
会員名を入力していない場合は、「会員名」のところにギンガネット電話番号が表示されます。

バージョンアップをしましょう

1 「24.端末機バージョンアップ」アイコンを選択しましょう



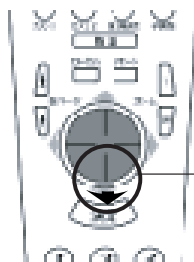
サービスメニュー 1ページ目 (1/3)



(1) リモコンの「移動」ボタンの下部を押し、黄色の選択枠を下へ移動させます。



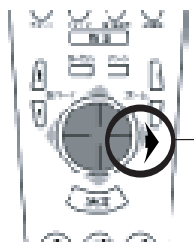
サービスメニュー 2ページ目 (2/3)



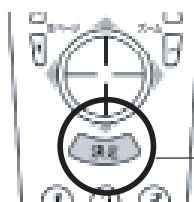
選択枠が画面の1番下にある状態でもう1度押すと、次のページに移ります。



24.端末機バージョンアップ



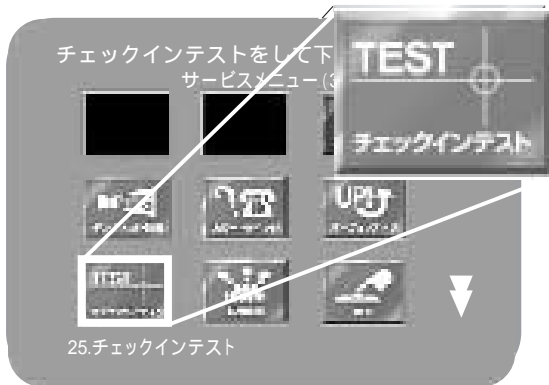
(2) サービスメニューの3ページ目(「サービスメニュー (3/3)」と表示されます)にある「24.端末機バージョンアップ」アイコンを選択し、「決定」ボタンを押します。



(3) リモコンの「決定」ボタンを押します。

チェックインテストをしましょう

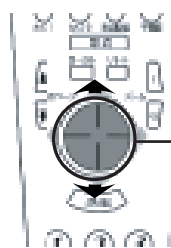
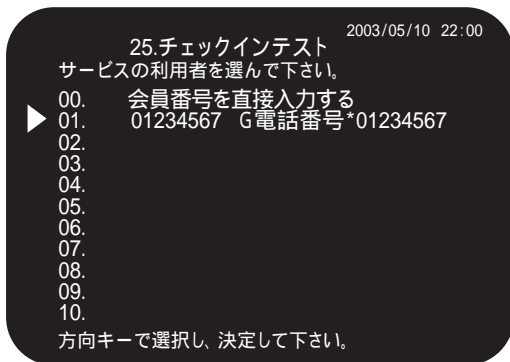
1 「25.チェックインテスト」アイコンを選択しましょう



前項の「バージョンアップをしましょう - 」の要領で、サービスメニューの3ページ目にある「25.チェックインテスト」を選択し、「決定」ボタンを押します。

サービスメニュー画面が表示されていないときは、「サービス」ボタンを押して、サービスメニュー画面を表示させます。

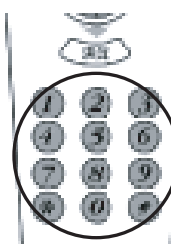
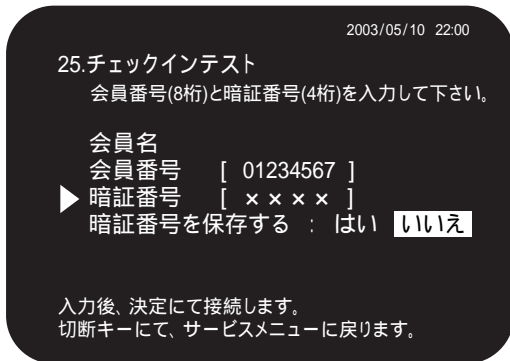
2 サービスの利用者を選択しましょう



(1) サービスの利用者を選択します。

「移動」ボタンで三角のマーク(▶)をご自身の番号に合わせ、「決定」ボタンを押します。

暗証番号を保存している方はそのままチェックインテストが始まります。



(2) 「会員情報設定」で、暗証番号の保存を行っていない場合は、登録内容確認票に記載の暗証番号を入力して「決定」ボタンを押します。

ご自身で決めた暗証番号を入力されても無効です。暗証番号は、どの数字を入力しても「XXXX」と表示されますので、入力間違いにご注意下さい。

3 テストビデオが始まります



テストビデオの種類を選択して、ビデオをご覧下さい。

機種を選択する画面につながります。

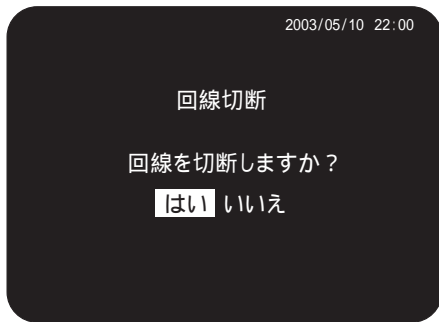
「数字」ボタンの「3」を押して、**WARP GATE**(ワープゲイト)を選択します。



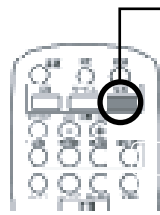
テストビデオをご覧下さい。

チェックインテストは映像、回線、音声のテストを兼ねていますので、ヘッドセット等をつけて、音声が正常に聞こえるかどうかの確認も必ず行って下さい。

4 ブ레이크(切断)しましょう



すべての項目をご覧になりますと、「切断して下さい」というメッセージが表示されます。



リモコンの「切断」ボタンを押します。
切断確認画面になります。
リモコンの「決定」ボタンを押して切断します。
切断したくなければ、「移動」ボタンで「いいえ」を選んで「決定」ボタンを押すか、「取消」ボタンを押します。



自分の音声がきちんと通信相手に届くかどうか確認するためには、セルフチェックを行って下さい。
(P 47 「セルフチェック(機能診断)をします。」)



IP回線とISDN回線の両方をご利用の場合

IP回線とISDN回線両方をワープゲイトに接続している状態でチェックインテストを行うと、IP回線の方が優先される為、IP回線でのチェックインテストをすることになります。ISDN回線でチェックインテストに接続したい場合は、IP回線が通信できない状態にしてから行って下さい。



IP通信の場合はベストエフォート型のため、度々回線速度が低下し、音声が途切れたり、映像が乱れたりすることがあります。(P 100 「症状を確認しましょう」)
IP通信でルータを経由する場合は、ワープゲイトで通信ができるようにルータの設定が必要です。
(P 27 「ルータを経由する場合の設定例」)



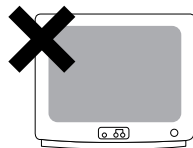
チェックインテストが始まらない場合は以下のポイントを確認して下さい。

音が
聞こえない



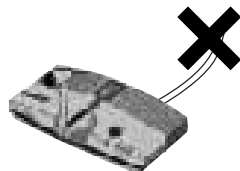
ヘッドセットを着けていますか？
音量は「7」に設定されていますか？
ヘッドセットは本体にしっかりとつながっていますか？
ヘッドセットのプラグの向きは正しいですか？

画像が
見えない



テレビのチャンネルを合わせていますか？
映像用ケーブルはワープゲイトの「映像出力端子」にしっかりとつながっていますか？
映像用ケーブルはテレビの「映像入力端子」にしっかりとつながっていますか？

接続
できない



正しい会員番号と暗証番号が入力されていますか？
リモコンの向きは正しいですか？

上記のポイントを確認しても改善されない場合は、
ギンガネットテクニカルサポート (☎ 06 - 7688 - 1717) までお問い合わせ下さい。